



タイムズ

2012.7.1
平成24年 22号

発行：多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-2385
E-mail kodomo@town.taka.lg.jp

特集

「豊かな心の育成」

～ふるさとに
愛着と誇りをもつ～



おもな内容

- ・教育委員会特集
- ・「豊かなこころの育成」
- ・びっくあっぷ学校園
- ・子ども向けイベント情報
- ・あっぱれ多可キッズ
- ・あったか子どもサポーター
など

豊かな心の育成 （直接体験の大切さ）

豊かな心の醸成

今、心の教育の充実が叫ばれています。心の教育の柱は、「生命を尊重する心」「他者への思いやりや社会性」「倫理観や正義感」「美しいものや自然に感動する心」であり、幼少期の自然体験や感動体験が豊かな心の醸成に大きな影響を及ぼすと考えています。

原体験とは

兵庫教育大学名誉教授山田卓三先生によると、原体験とは生物や人及びその他の自然物により醸成される事象を、触覚、嗅覚、味覚をはじめとする五感を用いて知覚し、その後の物事象に影響を及ぼす体験のことだそうです。具体的には、幼少期・学齢期に実体のある「七つの原体験」（※1）と実体のない「ゼロ体験」（※2）をたくさん経験することが大切であると話しておられます。

※1 七つの原体験

- ① 動物体験：ザリガニを手で掴んだり魚取りをしたりする体験等
- ② 草体験：食べられるイタドリなどの若い茎を食べたり、草花遊びをしたりする体験等
- ③ 木体験：木に登ったり、木の実を採って食べたりする体験等
- ④ 土体験：穴を掘ったり、土をこねて土鈴を作ったりする体験等
- ⑤ 石体験：石を投げたりけつたり積んだりする遊びや道具を作ったりする体験等
- ⑥ 水体験：山のわき水を飲んだり海や川などに潜ったりする体験等
- ⑦ 火体験：火を起こしたり、たき火をしたりする体験等

※2 ゼロ体験

暑さ、寒さ、飢え、渴きといった生理的な自然体験や、暗闇を歩いたり、星や月を見たり、風の音を聴いたりする情感体験のこと



直接体験は忘れない！

原体験とは、広義には幼少時の「触・嗅・味・視・聴」の五感の神経回路の形成も含めた、基本的な体験のことです。五感の中でも特に「触・嗅・味」（触

つて、においを嗅いで、味を見る）の感覚は基本的な直接体験であり、一度の体験で生涯にわたる長期記憶となります。これに対し、「視・聴」の感覚は間接的で、意識していないと感覚が成立しません。というのも、聴覚の受容範囲は三六〇度の全方位であり、視覚の受容範囲も一八〇度と広範囲であることから、視覚と聴覚の情報量はあまりにも多すぎ、すべてを受容したのでは処理することができないわけです。そこで、意図的に聞いたり見たりしなければ、その情報を感知できないし、結果的に視覚と聴覚では情報を厳選していることとなります。

西洋のことわざに「I hear and I forget. I see and I remember. I do and I understand」があります。

これは、聞いたこと(hear・聴)は忘れ(forget)、見たこと(see・視)はもう一度見れば思い出し(remember)やっしたこと(do・触・嗅・味)は理解できる(understand)という意味です。

このように、西洋でも昔から「触る・嗅ぐ・味をみる」といった基本感覚を伴う直接体験の大切さが理解され、言い伝えられてきたのではないかと思います。

まれて育っていることが多いので、我慢することが当たり前だったような気がします。実体のある「七つの原体験」と、実体のない「ゼロ体験」を意識せずに日々体験していたのです。暑い、寒い、気持ち悪い、くさい、痛い、苦しいといった不快な要素もいっぱい経験し、それから逃げようとするのでなくましく育つたように思います。

ところが、今は、「テレビゲームがあり、一人遊びができる」「エアコンの効いた快適な自分の部屋がある」「欲しいものは何でも売っており、お金さえ出せば何でも手に入る」など、豊かな生活環境が整っている中で暮らしている子どもたちが多いように思います。その結果、「しんどい」とはしない。「思い通りにならないと、手っ取り早く安易な方法で解決しようとする」など、精神的なストレスに対して耐性のない子が多くなっているように思います。人間が自然から離れすぎた弊害が今の子どもたちにあらわれているのではないかと思うのです。

実体験の大切さについて、一つ例を挙げてみます。多可町の五年生の子どもたちは、毎年淡路へ自然学校に出かけ、そこで船に乗り海へ漕ぎ出すカッター実習を行います。その時に、心がバラバラだと船が全然前に進まない、でも心が一つになるとびっくりするぐらい気持ちよく船が前へ進むといった



なぜ今、体験活動なのか？

今の子どもたちは、昔の子どもに比べて生きる力が弱くなってきたのではないかとわれます。これはどうしてでしょうか？

これは、物質の豊かさと無縁ではないと考えています。テレビゲームもない昭和四十年代までは、身の回りにもいろいろと遊びを工夫したり、いわゆるガキ大将を中心とした集団で遊んだものです。また、エアコンもなく大家族の中で揉

経験します。

実体験の中で揉まれ葛藤する経験を通して、他人の痛みがわかり、ルールを守ることや規則正しい生活をすることの大切さを理解し、知識や技能を修得していくことの楽しさを学んでいくのではないかと思うのです。



「家庭でも自然体験を！」

今、多可町の小中学校では、体験活動重視の考えから、小学校三年生で環境体験事業、四年生で多可っ子芸術

文化体験事業（わくわくベルデイー）、五年生で四泊五日の自然学校、中学校一年生でわくわくオーケストラ、二年生でトライやる・ウィークに取り組んでいます。幼稚園や保育園でも豊かな自然体験研修事業を実施し、園児に直接体験の機会を提供しているよう研修会を実施しています。

また、多可町教育委員会では、伝統文化いきいき教室や児童館事業、冒険広場事業、放課後子ども広場事業等、子どもたちがいろいろな体験活動を経験できる場を数多く提供しておりますので、ご家庭でも是非参加を勧めただければ幸いです。

あわせて、今年五月に金環日食、六月に金星の太陽面通過等、珍しい天体現象がありました。このような機会には是非見る機会を作ったり、特別な自然現象がないときでも星空を眺めたり、登山をしたり、川遊びをしたりと、自然とふれあう機会を多く持っていたらいいと思います。

そういった自然体験の積み重ねが、子どもたちの豊かな心の育成につながっていくものと信じています。

ぴっくあっぷ学校園



中町幼稚園

牧野の大池へ行きました

～ふるさとだいきっす子～

中町幼稚園では毎月二回、多可町のいろんな所へ出かけます。入園してから初めての園外保育は牧野の大池へ出かけました。前日に龍神伝説の話を聞いていた子ども達は、「せんせい、ほんまにりゅうおるんかなう」「りゅうがでてきたらやつつけたる！」と意気込んでいました。



りゅう、でてこーい

当日は雨の心配があり通園バスを利用しました。バスから降りると神秘的な緑色をした大きな池に子ども達は、圧倒されていました。追いかけるかのように空がうす暗くなってきた。小雨が降り、強い風が吹きだしました。まさ

そのあとは、そばにあるキャンプ場でかくれんぼをしたり、探検をしたりして遊んで帰ってきました。園に着くと、「楽しかったな」「遠くの方にりゅうおったやんな」「うん。おったな」と嬉しそうに友だちと話していました。



りゅうくーん

キッズランドかみが開園して丸一年経ち、今年度は0歳児から五歳児まで計一六〇名の子ども達が元気に過ごしています。開園当時からあまり変化のなかった園庭の環境を見直し、五歳児の子どもたちを中心に、散歩先や旧保育所から草花や石を持ち帰り、園庭ビオトープ周辺に花壇を作りました。また、遊んでみたい！やってみてほしい！試してみたい！と思える環境作りに取り組んでいます。



自然大好き げんきっす子



散歩中、「で〜んでんむ〜しむし」とカタツムリを捕まえて歌っていた二歳児。手の中でニョキニョキと角を出した。「わあほんまにでてきた！」と大喜びでした。歌がカタツムリに届いたね♪

園庭で蛙を見つけ大事そうに握りしめていた三歳児。握りすぎて苦しそうにしていたので、お家にかえしてあげよう！と提案すると、素直に花壇に放してあげました。びよんびよん跳ねる蛙をみて「かえるさん、ママのところにかえったの？」と「ありがとう」って言っているよ。

遠足で四歳児が野いちごを大発見！初めて食べたその味は？「おいしい！おいしい！」そして翌日、それまで気にもしていなかった園庭の隅の木イチゴに気付きました。「みてみて！ここにもあったー！」一人で食べてもおいしいけれど、みんなで分け合って食べるともっとおいしいね！

散歩で行くと、様々な物や人との出会いがあります。その出会いが、子どもの五感を刺激します。原体験は心を豊かにしてくれます。その中で見つけた、子どもの感動や発見をいくつか紹介したいと思います。

散歩で見つけたたんぽぽの綿毛。大きく息を吹きかけると風に揺られてふわふわと…。どこに行くのかな？柔らかいね。くすぐったいね！それをみた子がレンゲの花でも試してみました。飛ばないね？どうしてかな？

おった！おった！！ おじゃまたくし！

多可町の恵まれた自然の中で、心豊かな子どもに育って欲しいと思います。

ぴっくあっぷ



キッズランドやちよ

自然にふれて

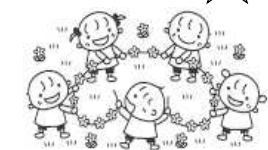


地域の力を活かす

キッズランドやちよでは、年に二回、遠足に行きます。春は、エーデルささゆりに行きました。秋は、余暇村公園へ行く予定です。園外へ出て、目的地まで歩く道での小さな発見を楽しんだり、地域の素晴らしい施設で、身体を十分に動かして遊んだりしながら、僕たち私たちの町の良さに気付くことができる機会になればと思っています。

春の遠足では、五歳児は山に登り、ワラビ採りを体験しました。山には、たくさんワラビがあり、子ども達は、喜んで採っていました。採ったワラビは、後日クッキングをして食べました。

☆ やちよだいきっす ☆



鹿避けの囲いも作っていただきました。

中町南小学校

みんな仲よく 力と心を合わせて

中町南小学校では、七年前から「たてわり班」をつくって活動しています。子どもたちが互いに支え合い、心のつながりを深め、よりよい人間関係をつくることに取り組んでいます。

現在は、月に一回「なかよし遊び」をしています。六年生が中心になり、「自分たちだけが楽しくてもあかん」、「一、五年生が楽しんでくれる遊びを考えよう」と声をかけあいながら遊びの内容を考え、仲よく遊べるように工夫しています。晴れの日は、「うずまきドンジャンケン」、「だるまさんがころんだ」、「ころがしドッジ」などをします。雨の日には、室内で「ハンカチ落とし」、「命令ゲーム」、「神経衰弱」、「絵しりとり」などをします。班ごとにメンバーに合った遊びを計画しています。



下級生を気遣う上級生の優しさが伝わってきます。二十班の活動それぞれにドラマがあり、その中心から、協力や助け合い、思いやりの心が育っていきます。

〈六年生の作文より〉
◎なかよし遊びがありました。六年生が自分達でうずまきドンジャンケンをやってみると、何人かの子が「それ知ってる」とか「やったことある」などと言った声がありました。でも、一年生にもう少ししっかりと説明していただければ、一年生は笑顔だったので、ちゃんと楽しんでくれたと思います。
◎うずまきドンジャンケンで、二回戦をやり終ると終わりました。もうちょっと説明がうまくできていたら、もっと楽しくできていたんじゃないかなと思います。次は、三班と転がしドッジでうまく説明をして、低学年の子達が楽しくできたらいいなと思います。

ぴっくあっぷ学校園



中町北小学校

創立百二十年
同窓会盆踊り

中町北小学校では、毎年八月十三日に同窓会総会と盆踊り大会を行っています。福引きやアイスクリームの振る舞いがあり、児童や校区のみなさんだけでなく、お盆で里帰りされている方も楽しみにされています。

中町北小学校の同窓会は明治三十一年に結成され、今年で百十五年になります。総会の他に余興が行われるようになったのは、昭和二年からです。その頃は、浪曲や漫才などの演芸を鑑賞していたようです。現在のようには盆踊りが行われるようになったのは、記録では昭和三十年代の中頃からです。



▶ 昨年度の盆踊りの様子



▶ 同窓会役員によるやぐらの準備

今年、学校創立百二十年に当たることから、役員やPTAの方の協力を得て、次のような特別企画を考えています。

- ◎ 開校百周年のタイムカプセルの開封（掘り起こし）
 - ◎ 百周年記念ブロンズ像「舞」に関する企画（内容は未定）
 - ◎ 歌舞伎クラブの県立文化体育館での公演のビデオ放映
 - ◎ 交流コーナーの設営と、模擬店の出店
- 例年通りに福引きも行います。ご近所お誘い合わせてお越し下さい。校区外の方も歓迎です。多くのみなさんのお越しをお待ちしています。



ぴっくあっぷ



ふるさとの自然大好き

— 体験活動を活かして —

美しい山並み、清流杉原川。多可町は豊かな自然に恵まれたまちです。このような素晴らしい自然環境のもとで育った子どもたちといえども、最近では、たつぷりと自然に触れられ浸ったりする体験は、少なくなっているのではないのでしょうか。

自分の目で見て、本物に触れて、実際に作ってみる。様々な体験を通して学ぶことで、机の上の勉強だけでは味わえない感性を磨くことができます。

この体験活動のひとつとして、二年生は生活科で「桜もちづくりに挑戦しました。

まず、学校の桜の木から若葉を採って、塩漬けにしておきました。



それから、食紅でさくら色に染めたもち米を薄く伸ばし、あんこを包んでいききました。手作りの味に子どもたち

杉原谷小学校

ちも大満足。

また、三年生は、「よもぎ団子づくり」をしました。杉原川の近くで柔らかいよもぎを摘み、湯がいてミキサーで細かくくだきまし



た。その後、豆腐と白玉粉を混ぜたりこねたりしながら作っていきま

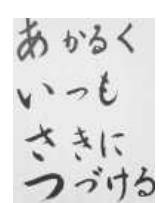
した。家庭科室は、春らしいよもぎのいい香りでいっぱい。きな粉をかけて一口食べると、「うん、おいしい。」と、子どもたちの笑顔が広がりました。

このように、ふるさとの四季折々の自然を活かした体験活動。さらには、伝統文化継承としての杉原紙づくりなど、生まれ育ったふるさとを見つめる眼を持つとともに、そのよさを知り、誇りに思う気持ちを育てていきたいと思えます。そして、その過程で多くの人と関わり、結びつきを深めながら、「豊かなところ」が育っていくことを願っています。

松井小学校

あがるく いっしょに つづける
・ 未来の君の笑顔 ・

松井小学校では、学校教育目標を「人権尊重の心を持ち、ふるさと多可町を愛し、心身ともに健康で意欲的に学ぶ子の育成」わたしがやりましょう」としています。平成二十四年度の取組の二つを紹介いたします。



まず、「あいさつ」の取組です。人が人となりを求めるとき、その入場

券と言えなのが、「あいさつ」です。いい人間関係づくりをしようとする意志が働くところに「あいさつ」という行為が生まれます。自ら進んですれば、その人は、人との強い結びつきを求めていることになると考えます。本校では、「あがるく いっしょに つづける」をキヤッチフレーズに、朝の校門で、校長をはじめ教職員で、交通安全の見守りとあわせて、朝一番のさわやかなあいさつを通して絆づくりを行っています。



育った地区の将来を支える人材の育成として、登下校の安全安心とあわせて大切なことです。上級生が、「集合時刻に気をつけて」「きちんと一列に並んで」「落ち着いて素早く横断して」と安全安心のためにかける言葉。素直に従い、自らも気をつけようとする下級生の子ども達。これは、上級生が毎日本気でやさしく下級生に接し、下級生が上級生の子を尊敬し素直についていかなければ実現しません。家庭の協力も大切です。地区でのよりよい絆づくりと安全安心の登下校の実現に向けて、児童会が中心となって、下校時の集まり等で、いい活動をしている子、よい地区、よくなったところなどを紹介したり、注意すべきところを指摘したりしています。よい集団登下校の地区が増えつつあります。



本校の取組の一部を紹介しました。価値あるイベントの展開とともに「あいさつ」「きちんと並ぶ」・「当たり前のことこそすべての基本として」「そうじ」「時間」・「と今後も取り組んでいきます。

9月15日は何の日か知っていますか!?

現在では法律の改正により九月の第三月曜日に定められている「敬老の日」ですが、以前は九月十五日が敬老の日でした。子どもたちや、若い世代ではそのことを知らない人が多いようです。

本校では、ふるさと多可町を愛し、こころ豊かな子どもを育成するために、故郷門脇政夫さんが努力された「敬老の日」という祝日ができることを道徳の教材にしました。担当者を中心に資料を集め、聞き取り調査を行い、読み物資料にまとめました。

門脇さんは村長になられて、お年寄りを大切に、その知恵を借りて村づくりをしようとして、農閑期と、農閑期で気候もよい昭和二十二年九月十五日、野間谷で初めて



敬老会を開き、その日を「としよりの日」と決めました。それが全国にひろがり「敬老の日」が誕生しました。授業を受けた子どもたちは、八千代から始まったことが全国に広がったことに驚きました。

授業では門脇さんの家族の方からの手紙も紹介されました。手紙で「父にはお世話になり、すみませんという謙虚な気遣いと、ありがたいという感謝の気持ちがある」という感謝の気持ちがあるという手紙が紹介されました。皆さんも大切にしてください。皆さんが大切にしてください。皆さんが大切にしてください。



この教材を使って学習した子どもたちが、自分の生まれ育ったふるさとを愛し、誇りに思う気持ちを育ててくれることを願っています。

敬老の日は八千代から生まれました!!

八千代南小学校



ぴっくあっぷ学校園

八千代北小学校

ふれあいの森

「八千代北小学校には、ふれあいの森があります。」「また、一緒に遊びましょう。」「今年の入学式、二年生が新入生に贈った言葉です。本校南西に位置する「ふれあいの森」は、子どもたちが元気に遊ぶ姿を静かに見守っています。昨年度の六年生は、「ふれあいの森」に生息する木々にネームプレートをつけました。



今年の五月九日には、一年生の三校(八千代北・南・西)交流学習会で、「ふれあいの森探検」を行いました(雨のため後半のみとなりましたが...)。また、体育授業のウォーミングアップや生活科の授業の中でも「ふれあいの森」は大活躍します。いつか彼らが大人になった時、ふるさとの母校でお世話になったこの森の風景は、みんなの宝物になっているでしょう。



クリン草

復活

かつて笠形山を美しく彩ったクリン(九輪草)は、登山客によって摘み取られ、自生地には以前のような華やかさは残っていません。そこで、三十年ほど前からクリン草の植栽や種まきが始められました。現在、本校の中庭の池周辺では、きれいに咲いたクリン草が見られ、人の心をなごませてくれます。

本年度、本校の総合学習では、三・四年生を中心として、「強く美しく育て！みんなのクリン草」をテーマに、子どもたちの手による植栽を開始しました。「絶滅が危惧されるクリン草を守ろう」と活動されている地元の人々に学び、クリン草を通じて「美しいふるさと・八千北」を再認識させるとともに、自然の生き方を見つめていきたいと思っています。



八千代西小学校

ななこしりーの弟姉妹75トローピカルパーティー

今年の児童数は、七十五名。学校行事のほとんどは、一年生から六年生で編成する四つの「ななこしりー」を単位として行います。PTAの親子ふれあいキャンプやふれあい食事会もそうです。ふだんの遊びでも、全校生が入り乱れて思い思いに遊んでいます。リーダーシップや思いやりの心は、このような環境の中で培われるのだと思えます。小規模校のよさが、ここにはあります。

ななこしりーのななこしりー遊び

毎週水曜日の朝は、全校生でリレーをします。準備、進行など、すべて子どもたちで行います。脳の活性化にもいいのです。木曜日の長休みは、六年生が考えた遊びを班のみんなでします。遊びは子どものエネルギーですね。



ななこしりーのななこしりー遊び

今年の春の歓迎遠足は、竹谷山に行きました。かつての山越えは、トンネルになりましたが、高学年が低学年をサポートして歩く形は変わらず、とても楽しい遠足ができました。



ホーン・ブーミンがいっぱい！
八千代西小学校で検索！
八西小の最新情報をご覧ください。



ぴっくあっぷ

かっこいいやわらかくたくましく 好きです私 好きです中町中

平成二十四年度の学校教育目標に「好きです私 好きです 中町中」という言葉が入りました。これは、わが校が自分の属する社会や集団を愛せる人間の育成を目標に掲げているためです。

本校では、目標に向け、道徳の時間を中心に、郷土愛の育成に力を入れています。また、愛校心を育てるために、生徒会を中心に有志を募り、校歌を様々な場面で歌う取組もしています。

兵庫県教育委員会が作成した道徳の副読本「心かがやく」の中には「播州歌舞伎」をテーマにしたものがあります。



▲平成23年度 道徳講演会
播州歌舞伎：山根加織さん

中町中学校



▲平成24年度 PTA総会
生徒会と全校生有志による校歌斉唱

昨年度の一年生はその教材をもとに、道徳学習を行いました。また、実際に、播州歌舞伎の伝承に取り組まれている山根加織さんに来ていただき、播州歌舞伎の魅力や、伝統文化を伝えていく意義についての講演もしていただきました。

今年度の一年生の道徳も「郷土愛」をテーマに授業を展開しています。四月の道徳では、「ふるさと自慢」と題して、地域を見つめ直す授業をしました。今後、地域の文化や技術の継承に努力されている地元の方にスポットをあてて、その思いを聴かせていただく予定を立てています。

将来、本校の生徒が、この素晴らしい多町を愛し、発展に向けて活躍してくれることを期待しています。

地域は地域・びっくあっぷはびっくあっぷ

二年生六十五名が学校を飛び出して加美区をはじめとする全部で二十七の事業所で五日間さまざまな活動をしました。

販売店で活動した生徒は、「お客さんへの挨拶のしかたや大切さを教えてもらい、身をもって感じた。商品の並べ方にも工夫があることが分かった。お店の裏側で、商品を店頭と並べるまでにいろいろな作業をすることが分かった。」

製造業で活動した生徒は、「加美区にこんなすごい会社があるとは思わなかった。物をつくることの大変さや、できた時のよろこびが分かった。どんなものでもたくさん人の知恵や努力が詰まっているのだと感じた。」

↑(A)コップ



↑(森林組合)

この間、「遠距離を通うのもトライやる」と自転車を通った生徒もありました。また、生徒が試作したものが、商品として店頭と並ぶことになったものもあります。

事業所の方から親切にやさしく指導していただき、生徒にとって充実した活動となりました。事業所の方からは「まじめによく活動してくれました。」という言葉をたくさんいただきました。

生徒たちはこの活動を通して、仕事の楽しさや厳しさ、働いておられる方の仕事への情熱、そして、自分の住んでいる地域について新たな発見をしたと思います。

加美中学校



ぴっくあっぷ学校園

八千代中学校

「食」で郷土を学ぶ

八千代中学校では、二年生が多可町の特産品を使った献立を、地元「いずみ会」のご指導による調理実習で作ること、郷土を知り、郷土を学び、郷土を味わう『食育講座』に二十一年度から取り組んでいます。

講座には、「いずみ会」の方に十二名指導者としてお越しいただき、まず、「いずみ会」の活動の趣旨や様子、会員さんの自己紹介等をしていただきました。

その後、地元産の食材の具体的な説明や調理の手順を分かり易く説明していただき、七班(調理台)に分かれて調理に取り組みました。

使った主な地元産の食材は、「高野豆腐」「椎茸」「卵」「油揚げ」「葱」でした。他にも、「ほうれん草」や「キウイ」「玉葱」「大根」「人参」「きゅうり」そして「とうがらし」といった地元農産物の食材を調理していきくとを、細かく説明していただき、生徒たちは一様に驚き、あらためて地域の産物から地域を知



産の食材を調理していきくとを、細かく説明していただき、生徒たちは一様に驚き、あらためて地域の産物から地域を知



る大きなきつかけを得ました。献立は、「鮭のピリ辛あん」「高野豆腐の卵とじ」「ほうれん草のピナッツ和え」

「具だくさんみそ汁」「フルーツヨーグルト」「白飯」という純和食にデザートという、バランス抜群の豪華献立でした。

生徒たちにとって調理実習は初めてではなく、かといって手慣れたでもないという状況でしたが、手助けをし過ぎない適切な指導と支援で、けっこう多種類の献立をなんとか時間内に協力して作り上げ、美味しく食べました。

普段何気なく食べている食材ですが、講座を通して郷土がぐっと近づいた貴重な時間になりました。本年度も秋に「いずみ会」のお世話で食育講座に取り組む予定にしています。



「いずみ会」のお世話で食育講座に取り組む予定にしています。

みどり保育所

子どもの可能性は無限大

みどり保育所では、「身体を動かすことが楽しい・運動が好き」と、思えるように日頃から柔軟をしたり、運動用具を使った遊びを継続してしたり、遊び感覚で取り組んでいます。また、全園児でダンスを踊っています。子ども達の健康を願うだけでなく、身体を動かすことで、脳の働きを活性化させ、自分で考え、意欲的に何事にも取り組もうとする自立した心を育てています。

鉄棒や跳び箱等、友達と一緒に取り組むことで、一人が出来る様になると、「自分も出来るようになりたい」という気持ち芽生え、こちらが教えるのではなく、自ら進んでチャレンジする姿が見られます。一つの目標が達成すると、次の目標を自分で決めて、さらに挑戦しようとするようになり、また遊び感覚で自分でやってみ



〈ダンス風景〉



〈運動遊び〉



〈よもぎだんご〉



〈いちご狩り〉

また、直接体験を大切にしています。食育では、自分達で作った野菜だけでなく、散歩に出かけた時に採ったよもぎでよもぎだんご、サルトリイバラの葉を使ったかしわもち作りなど、身近な自然を使ったクッキングをすることで、ふるさとの自然に興味を持つだけでなく、食への意識も変わり、意欲的に食べようとしていたり、作って下さった方へ感謝の心を育てたり、人への思いやりの心を育てることも保育目標の一つです。

子ども達の将来に責任が持てるように、つながりのある保育をし、子ども達の健やかな成長を願っています。



ぴっくあっぷ

多可町の特徴はやはり、「豊かな自然」ですね。

あさか保育園では、今年度十名の五才児が残り、本格的に五才児保育を始めることとなりました。そこで、五才児独自のプログラムとして月に一度、山登りをするにとしました。

四月第一回目の山登り。バスでなか・やちよの森公園湖畔広場に到着。一回目と言うこともあり、公園で遊ぶことをメインに考えていたのですが、子ども達はやる気満々。「山に行きたい」と声を上げたので早速山に向かいました。



三九三メートルの「黒木山」急な坂道あり、岩場あり、怖い一本道ありとワクワクするコースでした。途中で子ども達が根を上げてしまうのではないかと心配していましたが、最後までおしゃべりしながら楽しく歩きました。頂上に来ると多可町を見渡すことができ、みんなも「わあー」と歓声を上げていました。頂上でお母さんに作ってもらったおにぎりを食べ、「ここに泊まりたいな」など、

楽しいお話しがたくさんできました。とっても疲れた先生をよそ目に、子ども達は帰りの元気がいっぱいでした。

五月第二回目の登山は、溪流広場から前回登った黒木山に行き、それから尾根を歩きながら展望台まで歩くコース。前回よりも距離も長く、気温も上がって子ども達は「暑いなあ」「疲れたあ」ともらすことが多かったですが、頑張ってお楽しみのお弁当タイム。お母さんに作ってもらったおにぎりをおいしくいただきました。

ところが、その後急な雨に見舞われて展望台で立ち往生通り雨かと思いきやなかなか、カッパを着て帰ることにしました。少しづつ、距離を伸ばし、卒園前には妙見山に登りたいなと思っています。



ところが、その後急な雨に見舞われて展望台で立ち往生通り雨かと思いきやなかなか、カッパを着て帰ることにしました。少しづつ、距離を伸ばし、卒園前には妙見山に登りたいなと思っています。

【「ちよみ」の種を「ふるさと」に持つ子どもたち】

緑豊かな多可町をふるさとに持つ子どもたち。大きくなったら多可町を想う時、何を懐かしく、又どんなことを思い出してほしいだろうか？

四恩保育所では、裏山を保育に取り入れ、山登り、どんぐり拾いなど季節の移り変わりを目と肌で感じる事ができます。



山へ行くと子ども達は「わあ、どんぐりいっぱいある〜」「見て！こんな大きい葉っぱやで」と毎回目を輝かせて新しい発見を楽しんでいます。急な山の斜面に最初は泣きそうになりながら登る子どももいますが、回数を重ねるうちに、自信をつけ、自然の滑り台で真っ黒に汚れたズボンを誇らしげに見せてくれます。



また、保育所の前にある曾我井ランドでは、ランドゴルフをなさる方々と、「おじいちゃんおはよう！」「また保育所に来てね〜」と楽しい会話が広がります。曾我井長寿会の皆様には、かれこれ何十年という長きにわたり保育所の子ども達を見守っていただいております。さつま芋の苗植えやお正月の餅つきなど、年間にわたりお越しいただき、常に優しい視線で接していただく中で、子ども達は「していただく」から「してあげたい」という風に、自然と思えるのではないのでしょうか。その心の変化を楽しみに、そして大切に想っていききたいと思っています。

子ども達がいつか故郷多可町を振り返る時、豊かな自然とともに、人のぬくもりを想い出し、心がほっこりと暖かくなったら・・・そんな体験が多くできる保育所でありたいと思います。

四恩保育所



日付	曜	内容	会場	対象	参加費	お問合せ・申込先	分類
7月1日	日	裂織(さきおり)体験教室~古布が素敵なコースターに~ 3色勾玉づくり~古代人が残したアクセサリ~	那珂ふれあい館	小学生2年生以下は保護者同伴 小学生以下は保護者同伴	100円 150円~200円	那珂ふれあい館	体験
7月7日	土	ReUse ひえひきと野菜カレー&カカシづくり 親子で発掘体験~考古学博士への第一歩~ デコ勾玉づくり~キラキラ光る勾玉づくり~	きた公民館 湖畔の広場 那珂ふれあい館	未就学児の保護者 要問合せ 小学生以下は保護者同伴	無料 300円 150円 300円	多可町子育てふれあいセンター なか・やちよの森公園 那珂ふれあい館	子育て 体験
7月8日	日	ラベンダーフェスタ2012 東山古墳群めぐり~多可町の歴史を学ぼう 勾玉プレスレットづくり~勾玉をプレスレットに!!~	ラベンダーパーク多可 那珂ふれあい館	どなたでも 小学生以下は保護者同伴	高校生以上500円小中200円 無料 300円	ラベンダーパーク多可 那珂ふれあい館	イベント
7月9日	月	おしゃべり会(子どもの発育)	キッズランドやちよ	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
7月13日	金	親子あそび「いかだ遊び・魚とり」	加美区豊部の川	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
7月14日	土	親子でコースターづくり ドキドキ土器作り教室~おもしろはにわ作り~ ちぎり絵教室~季節のちぎり絵を作ろう~	湖畔の広場 那珂ふれあい館	親子(小学生以上) 小学生以下は保護者同伴	500円 300円 400円~	なか・やちよの森公園 那珂ふれあい館	体験
7月15日	日	翠明湖周辺の桜の下草刈り(そうめん流し付き) 子連協将棋大会	湖畔の広場 中央公民館	中学生以上 小~中学生	無料	なか・やちよの森公園 こども未来課	イベント
7月16日	月	ダッチオープンでピザづくり	湖畔の広場	要問合せ	500円	なか・やちよの森公園	体験
7月18日	水	学習会「親子で3B体操」 七宝焼き教室~七色に輝くキーホルダー作り~	アスパル(アリーナ) 那珂ふれあい館	未就学児と保護者 小学生以下は保護者同伴	無料 600円~	多可町子育てふれあいセンター 那珂ふれあい館	子育て 体験
7月19日	木	園児との交流	キッズランドやちよ	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
7月21日	土	わくわく体験教室「お話しと七夕かざり作り」 段ボールオープン&凧製作~オープンを持って帰れます~	みなみ児童館 那珂ふれあい館	小学生 小学生以下は保護者同伴	50円 500円	中・みなみ児童館 那珂ふれあい館	体験
7月22日	日	竹の食器づくりとそうめん流し 手編み手芸教室~手編みの基礎から学べます~ 七宝焼き教室~七色に輝くキーホルダー作り~	湖畔の広場 那珂ふれあい館	どなたでも 小学生以下は保護者同伴	500円 100円 600円	なか・やちよの森公園 那珂ふれあい館	体験
7月26日	木	マタニティ・ママ応援	アスパル	マタニティ・ママ	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
7月28日	土	親子で鹿肉カレー作り~スパイスの効いたクセになる味!!~ 【夏休み宿題シリーズ】夜のむし調査隊~夜のむしを探そう 虫ムシ調査隊!~	那珂ふれあい館	小学生以下は保護者同伴	600円 100円	那珂ふれあい館	体験
7月29日	日	溪流でアマゴのつかみ取りと宝探しに挑戦! 子連協球技大会 【夏休み宿題シリーズ】涼音風鈴作り~オリジナルの音色にしよう~	溪流の広場 中央公園グラウンド他 那珂ふれあい館	どなたでも 中学生 小学生以下は保護者同伴	800円 無料 300円	なか・やちよの森公園 こども未来課 那珂ふれあい館	イベント 体験
7月30日	月	親子あそび「しゃぼん玉遊び」	アスパル	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て



日付	曜	内容	会場	対象	参加費	お問合せ・申込先	分類
8月1日	水	学習会「子どもの発達」	八千代プラザ(和室)	未就学児の保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
8月2日	木	コミバス体験①(夏期特別企画)	多可町内	小学生	未定	中・みなみ児童館	体験
8月3日	金	親子あそび「夏だ・水中運動会」	町民プール(中区)	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
8月5日	日	昆虫観察会	湖畔の広場	どなたでも	300円	なか・やちよの森公園	体験
8月9日	木	コミバス体験②(夏期特別企画)	多可町内	小学生	未定	中・みなみ児童館	体験
8月10日	金	親子あそび「親子ダンス・踊り」	アスパル	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
8月11日	土	竹でつくって遊ぼう!水てっぽうでサルカニ合戦	湖畔の広場	小学生	300円	なか・やちよの森公園	体験
8月12日	日	竹や小枝を使ったクラフト体験	溪流の広場	小学生	100~300円	なか・やちよの森公園	体験
8月15日	水	多可町ふるさとの夏祭り	加美運動公園	どなたでも	無料	地域振興課	イベント
8月16日	木	自然木を使ってホッケーゲームづくり	溪流の広場	小学生	500円	なか・やちよの森公園	体験



日付	曜	内容	会場	対象	参加費	お問合せ・申込先	分類
8月17日	金	8連発!輪ゴムのてっぽうづくり	溪流の広場	小学生	500円	なか・やちよの森公園	体験
8月18日	土	子ども木工教室 イスづくりほか	溪流の広場	小学生	500円	なか・やちよの森公園	体験
8月19日	日	間伐材で森の貯金箱づくり	溪流の広場	小学生	500円	なか・やちよの森公園	体験
8月21日	火	料理&天体観測(夏期特別企画)	八千代プラザ	小学生とその家族	未定	中・みなみ児童館	体験
8月25日	土	家族交流会	未定	未就学児と保護者	有料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
8月26日	日	わくわく体験教室「かえっこパズルin多可町」 ソバ・白菜の種まきとソバのお菓子づくり	中児童館 湖畔の広場	どなたでも	無料 200円	中・みなみ児童館 なか・やちよの森公	体験



日付	曜	内容	会場	対象	参加費	お問合せ・申込先	分類
9月2日	日	間伐材で丸太イスづくり	溪流の広場	中学生以上	500円	なか・やちよの森公園	体験
9月9日	日	わくわく体験教室「米粉料理」 ハイキングコースの整備体験	八千代プラザ 湖畔の広場	小学生 どなたでも	100円 無料	中・みなみ児童館 なか・やちよの森公園	体験 イベント
9月14日	金	親子あそび「飛行機飛ばし大会」	ラベンダーパーク	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
9月17日	月	秋のあかり~ツル編みで灯籠づくり	湖畔の広場	中学生以上	1800円	なか・やちよの森公園	体験
9月19日	水	親子あそび「ボール遊び」	アスパル	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
9月22日	土	うどん打ち体験	湖畔の広場	どなたでも	500円	なか・やちよの森公園	体験
9月26日	水	学習会「命のはなし」	交流会館	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
9月29日	土	観月会 多可郡中学校新人体育大会	加美体育館 町内	どなたでも 中学生	無料	加美コミュニティプラザ こども未来課	イベント スポーツ
9月30日	日	クリ拾いとクリご飯づくり	湖畔の広場	どなたでも	300円	なか・やちよの森公園	体験



日付	曜	内容	会場	対象	参加費	お問合せ・申込先	分類
10月11日	木	園児との交流「ミニ運動会」	キッズランドかみ	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
10月12日	金	親子あそび「ミニ遠足」	せせらぎの小径(八千代区)	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
10月13日	土	家族交流会	未定	未就学児と保護者	有料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
10月14日	日	第7回社協まつり	ベルディーホール	どなたでも	無料	多可町社会福祉協議会	イベント
10月21日	日	多可町芸術フェスタ	那珂ふれあい館	どなたでも	無料	こども未来課	イベント
10月24日	水	親子あそび「絵の具遊び」	アスパル	未就学児と保護者	無料	多可町子育てふれあいセンター	子育て
10月28日	日	わくわく体験教室「ハロウィンパーティー」	八千代プラザ	小学生	未定	中・みなみ児童館	交流

注意

- 掲載しているイベントについては、日程・内容等が変更になる場合がありますのでご注意ください。
- 実施時間等の詳細については、各施設・イベントごとに配布されるチラシ等をご覧ください。
- お申し込みについては、各イベントの申し込み受付開始後に可能となります。
※なか・やちよの森公園のイベントは実施日の前月1日から受付が開始されます。

(お問合せ・申込み先電話番号)

- 子ども未来課 32-2385
- みなみ児童館 35-1420
- 八千代プラザ 37-0250
- 多可町子育てふれあいセンター 37-2525
- 那珂ふれあい館 32-0685
- ラベンダーパーク多可 36-1616
- 中児童館 32-4328
- 加美プラザ 35-0080
- 県立なか・やちよの森公園 30-0050

あっぱれ多可キッズ!

今回は、六月二日・三日に行われた。多可町子ども会育成連絡協議会のHAPキャンプを取材しました。

HAPとは、兵庫(ひょうご)・冒険(アドベンチャー)・プロジェクトの略称で、県立嬉野台生涯教育センターを拠点として兵庫県が普及をおこなっている冒険体験で、「未知の世界へ一歩踏み出す勇気」や「仲間と協力して課題に立ち向かい思いやりや信頼する気持ち」を培うことを目的とした体験活動です。

参加した子ども達は、保護者や中学生ボランティアとグループになり指導者のアドバイスのもと、様々なゲームや高所でのプログラムの真剣に取り組めました。子ども達は困難を



仲間とともに乗り越える達成感に、充実した表情を見せていました。

また、夕食は中学生ボランティアがリーダーとなって、グループごとに自炊(飯盒炊爨・カレーづくり)に挑戦したほか、野外活動グループによるキャンプファイヤーでキャンプドルサービスマン・星空観察

で楽しいひと時を過ごしました。二日目もテントの設営やちびっ子



救命士講習を受講し充実した二日間一回り大きく成長し活動を終えました。

参加者アンケートから、

■ 参加して楽しかったことはなんですか？

クライミングタワーでしんどかったけど登れたこと。たくさん、友達ができたこと。夜のともだちのおしゃべり。

■ 参加して残念だったことや、いやだったことはなんですか？

キャットウォーク(高いところ)がこわかった。

星空鑑賞で星が見えなかったこと。グループで同じ部屋にねたかった。

■ その他の感想

もっと違うゲームがしたかった。きもだめしやサッカークがしたかった。一泊二日やったことのない体験ばかりでとっても楽しかった。

二年連続の参加でした。とっても楽しかったです高校生になっても参加できますか？(中学生ボランティア)

○あったか 子どもサポーター

紙ひこうきとゆかいな仲間達

野外活動グループ紙ひこうきとゆかいな仲間達は、旧中町の野外活動リーダーキャンプの指導をきっかけとして三十七年にわたり野外活動やレクレーションを通して子ども達や、お年寄、また障がい者の方々と関わりをもつ活動を続けています。グループは代表の芝 和男さんの呼びかけで集まった町内在住のとても温かいハートのキャンプリーダー構成者で、現在十三名で活動しています。

今回のHAPキャンプも二日間にわたり、子ども達のサポートや自炊活動の指導、楽しいキャンプファイヤーのスタンツなど心のこもったサポート活動を行っていただきました。



「子ども達とのかかわりが活力の源。子ども達の笑顔でメンバーも元気100倍！」と話す、紙ひこうきの皆さん

中学生ボランティアサークル



町内三中学校約百二十名が登録し四月以降児童館まつりや冒険広場(チーズinぼう焼きパン)のボランティアとして活動しています。今回のHAPキャンプにも小学生の指導係として夕食のカレーの味付けやグループの統率など色々な面でサポート活動をしてくれました。

○トピック

あったかスクールレポート放送中



たかテレビで小学生が自分達の学校を紹介するあったかスクールレポート。今年もあったかニュースの一コーナーとして放送中です。

小学生、中学生アナウンサーの活躍をお楽しみに!!

あっぱれ多可キッズ!募集中心

子どもタイムズで紹介する地域活動や、スポーツ等ががんばっている子ども達を募集しています。

自薦他薦を問わず教育委員会子ども未来課までご連絡ください。

※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【お問い合わせ先】 多可町教育委員会子ども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail kodomo@town.taka.lg.jp